

多文化共生のまちづくり講座 第2回「やさしい日本語ってどんなもの？」

講師：仲江千鶴さん (NPO 法人多文化フリースクールちば理事)

「日本語」と「国語」って同じ？

●日本語のいろいろな考え方

JFL (外国語としての日本語) …自分の国 (母語の国) で外国語を学ぶ

JSL (第二言語としての日本語) …日本で、日本語を話さない人が日本語を勉強する *やさしい日本語はこれに当たる

JHL (継承語としての日本語) …海外に移民した人の子や孫 (日系人) に教える日本語

JNL (母語としての日本語教育) …日本語母語話者が国語の勉強をする

→日本にいる、日本語を母語としない人に対しては、私たちが学ぶ国語として日本語を教えるという事ではない

●日本語の文字数

ひらがな46字 / カタカナ46字 / 漢字 約3,000字! *アルファベットは26字

ワーク①「生」の読み方を考えてみよう

A:「生」には150種以上の読み方があると言われている。

私たちは自然に何となく読み方を身に着けており、書けなくても読めることが多い。しかし、外国につながる人は一つの漢字にこれだけ読み方があることに、漢字を学ぶこと自体が嫌になってしまうかもしれない (漢字のハードルの高さ)。

●常用漢字の数

小学校で習う漢字1,026字+中学校1,110字→2,136字 (義務教育9年間で習得)

日本語を母語としない人に、小1からの漢字を順に覚えてもらうのは負担が大きい。

そこで…

生活に必要な基本的な漢字数381字 (漢字指導研究会 HP 引用) を目安とする。

※ただし子どもは学校で日本人と同じ教科書を使うので、これより多い。

ワーク②「断り」の言葉を考えてみよう

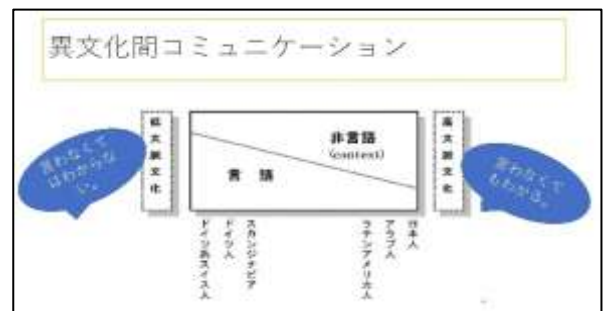
Q:近所の人から「今週末、美術館に行きませんか？」と言われたらどのように返しますか？ (本当は断りたい)

- ・すみません、残念ですが…/他の予定が入っているので (行きたくないが相手を傷つけない遠回しな言い方)
…非言語 (ローコンテキスト) 言わなくてもわかる「高文脈文化」
- ・行きません/美術に興味はないので …言語 (ハイコンテキスト) 言わなくてはわからない「低文脈文化」

日本人にありがちな、相手を傷つけないとする「察しの文化」による表現が、かえって文化摩擦を生むこともある。

わかりにくい日本語表現とは？

- ・敬語を使わない (特に、学校からの保護者への手紙や保護者面談など)
- ・説明は簡単に (やたらと複文は使用しない。単純明確に)
- ・「教科の語彙 (学習用語)」と「それ以外の言葉」の区別
学習用語はそのまま、それ以外はやさしい日本語へ置き換える。
- ・指示は言い換えない (簡潔に)
例：○「宿題は明日までに提出すること」
×「宿題は明日出さないとダメだぞ。大変なことになるぞ。」



●対象となるのはどのような人？

外国人 (日本語を母語としない) / 子ども / 高齢者 / 障がいを持った人

●やさしい日本語を使うメリットは？

より多くの人に伝えられる / 外国語に訳しやすくなる / 早く伝えることができる / 災害の時に役に立つ

ワーク③グループで話しあってみよう「私の周りの身近な多文化共生」

- ・外国につながる人への印象は？外国につながる人に会ったことがある（いつ・どこで・どんな人など）
- ・外国につながる人と活動をしたことがある（いつ・どこで・何の活動）
- ・外国につながる人に対して困ったことがある
- ・外国につながる人が困っている所をみたことがある

各グループから出た意見（一部抜粋）

- ・日本語を教えているが、最近では能力検定の為に日本語を勉強しているという技能実習生が多くなっている。
- ・災害時に情報が届きにくい。
- ・普段の生活ではあまり会わないので、君津に外国人はいるのかな？と思う。
- ・市役所での手続きが難しい。
- ・親御さんが外国の方で、学校からもらってくる手紙がわからないと聞いたことがある。
- ・職場で敬語が難しい。先輩後輩（上下）の関係性が理解できない。
- ・ご近所にいるが挨拶程度。何か伝えたい時にきちんと伝えられるか不安。
- ・家にこもりがちなのは、気軽に話せる場所があるとよいと思う。
- ・（自分の住んでいる地区が）限界集落なので、外国の人に移り住んでほしい。外国人と接点を持ちたい。

●日本語能力検定（JLPT）とは

年2回（7月と12月に試験）

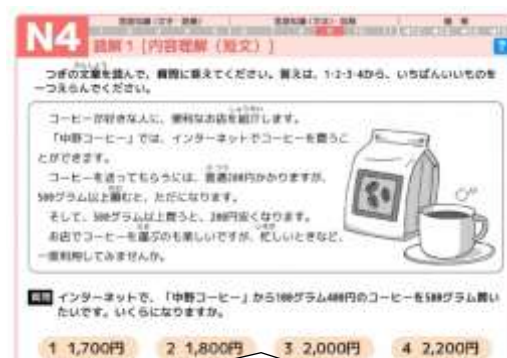
5級（N5：基本的な日本語をある程度理解）

4級（N4：基本的な日本語を理解） 3級（N3：製造業・介護現場等）

2級（N2：大学・専門学校程度） 1級（N1：大学院程度）

●やさしい日本語役立つツール

- ・やさしちゅチェックター ・チュウ助のレベルチェックター
- ・やんしす（やさしい日本語支援システム）
- ・伝えるウェブ ・災害時多言語情報ツール
- ・コミュニケーション支援ボード ・在留支援のためのやさしい日本語ガイドライン
- ・横浜市交流協会HP（やさしい日本語） ・やさしい日本語ツーリズム研究会



JLPTのHPから問題例を見ることができます
<https://www.jlpt.jp/>

●やさしい日本語の基本的ルール（15あります）

やさしい日本語はJLPT 4級程度・以下の文法で文章を作るのが基本。*N4レベルの語彙は1,500語
役所で使う語彙の80%はN4レベルでまかなえる。それ以外の20%はN1レベルも必要。
日本語を“使い分ける”ことが大事になる。

1. 一文を短くして、文の構造を簡単に

1つの文に1つの情報。3つ以上のことをいうときは箇条書き（伝えたいことは分かりやすく）

2. 難しい言葉を避け、簡単な言葉を使う。

例) 挙手してください→手をあげてください 記入します→書きます

無意識に使っている言葉を簡単に言い換えると、通じることがたくさんある。

例) 休日→休みの日 不燃ごみ→燃えないごみ ごみ収集車→ごみを集める車 高台→高いところ 避難→逃げる

（第3回講義に続く）

《質疑応答》

Q: 「やさしい日本語」の知名度は？どのくらい知られているのか。

A: 知名度は低いと思う。「やさしい日本語」という言葉もそうだが、“外国人とは英語で話せない”というのが多くの人
の思い込みで、“言葉を置き換えれば通じる”という概念は社会にまだまだ浸透していないと思う。

Q: JLPTで上級にチャレンジしている人でも、実際に書く・話すのコミュニケーションになるとうまくいかず、壁を感じる。

A: 中国の人は漢字を知っているから読み書きができて、会話が苦手ということも多い。言葉を知っていても実際のコ

コミュニケーションにつながっていない。JLPTは読み書きのみで、会話が問われないということも要因。話しやすい雰囲気も大事。仕事をする時などは会話が必要になってくるので、その壁については次回の課題にしたい。

Q:小中学生と一緒に学ぶ学習支援ボランティアをしているが、親が外国人の子は日本語が不得手なためか、国語でつまづいてしまう。わかりにくくても教科書どおりの国語をきちんと教えるべきか？

A:子どもに教えるときは2つの方法がある。母語で理解できるか、母語でも理解できないかで大きな違いがある。

母語で理解できる場合は、学習言語は日本語で教え、意味を母語で理解させる。文科省が学習言語を10か国語にした表を作っている。母語が確立している子は、母語を使って学習するのも大事な方法である。

しかし、日本育ちなど母語での教育をあまり受けていない子には、学習はハードルが高い。

学習言語は教科書に使われているままの言葉で教え、意味はやさしい日本語で教えないといけない。

学習言語を学年相当の日本語で教えると、外国につながる子は理解できなくなる。支援に入る人は、学習言語は読み方書き方を教科書通り教え、意味はかみくだいて教える必要がある。

船橋や松戸、柏、八千代市は外国につながる子どもが多く、教員の研修なども行われているが、地域によって情報に差があるとみている。

文責:周西公民館 三枝

〈参考文献〉

静岡県「やさしい日本語」の手引き

<https://www.pref.shizuoka.jp/kenmin/km-160/documents/yasahitebiki.pdf>

横浜市「やさしい日本語」で伝える 分かりやすく 伝わりやすい日本語を目指して

<http://www.city.yokohama.lg.jp/lang/ej/01.standard.all.pdf>

文化庁「在留支援のためのやさしい日本語ガイド」

https://www.bunka.go.jp/seisaku/kokugo_nihongo/kyoiku/92484001.html

国字研 漢字指導法研究会 HP

中島和子(2003/2010)「JHLの枠組みと課題-JSL/JFLとどう違うか」『母語・継承語・バイリンガル教育研究会』プレ創刊号 1-15 引用